

【文化の風】

岡山の文化「福祉」を 世界に発信



特定非営利活動法人
AMDA(アムダ) 代表

菅波 茂

「文明はエネルギー」であり「文化は集団の価値判断」である。集団の価値判断は形を取ることによって集団のエネルギーの一層の集中と昇華を期待できる。人間の歴史が刻まれた都市には価値判断の集積であり象徴である顔が必ずある。世界的に知られたパリとジュネーブに都市としての文化のメッセージを発信する顔を再発見すると共に、岡山のメッセージを発信する都市としての顔を形成する必要性がある。「さんび」の貴重な紙面を借りて紹介できることに感謝したい。

2009年7月6日から4日間ジュネーブの国連欧州本部(旧国際連盟本部)で開催された国連の会議に参加した。「世界の健康」のテーマの下に、世界各国20ヶ国と共にAMDAを含めた7団体のNGOが発表した。私は2003年から3年間をかけて実施した「スリランカにおける医療和平」を発表した。ジュネーブへはフランス・パリ経

由に入った。パリにもジュネーブにも都市としての世界にメッセージを発する顔がある。パリではセーヌ河に架かる歴史的な橋と共にルーブル美術館、ノートルダム大聖堂などがある。パリのメッセージは「芸術」である。一方、ジュネーブは旧市街と新市街に別れる。旧市街は18世紀におけるルソーなどに代表される。新市街は旧国際連盟、国連難民高等弁務官事務所、世界保健機関、国際労働機関や赤十字国際委員会などに代表される。ジュネーブの新市街のメッセージは「人権」である。パリの「芸術」とジュネーブの「人権」のメッセージを発する街自体の空間は決して大きくはない。個々の建築物の集合体としての圧倒的なメッセージである。そのメッセージ力が世界中から人を呼び寄せていると共に、ますます都市の文化的エネルギーを増幅している。

政令指定都市岡山が世界に発信するメッセージは何か。岡山の精神風土は「福祉」である。県民が営々と築いてきた愛育委員会、済世顧問制度に源を発する民生委員など膨大な社会的・人的なソフトパワーに加えて、1995年の阪神大震災の時に見られた「弱者の存亡の危機に瀕して動く」県民の爆発的なパワーは世界の無形の公共財産といっても過言ではない。「福祉」のソフトと建築の集合体の街こそ、パリやジュネーブと同じように、世界へ発信する岡山になる。世界の福祉の象徴は「車いす」である。岡山駅、市役所、清輝橋そして岡山シンフォニーホールに囲ま

れた空間と日本三名園である後樂園への回廊を「車いすで楽しめる都市空間」として徹底的に整備すれば充分である。西川緑道公園は一層の輝きを増す。福祉のソフトはすでにある。平均寿命世界一の日本が直面している介護はアジアが必要としている。江草安彦名誉理事長の率いる旭川荘がアジアの福祉センターとして「福祉を共に考える」のメッセージをアジアへ。林原健理事長の統括する林原共済会が、芸術と福祉の統合化された、「障害は進化」の衝撃的なメッセージを世界へ。「総合福祉研究の拠点」が駅前建設されれば政令指定都市岡山の立派なランドマークとなると夢想している。

「車いすで楽しめる都市空間」は岡山市民にとつては生活改善運動。一方、日本、アジアそして世界から見れば福祉の理念に基づいた顔の見える市民運動である。石井正弘岡山県知事が2004年に制定した「国際貢献推進に関する条例」のメッセージである。「国境を超える福祉」は県民の意思である。政令指定都市岡山が「国際福祉都市推進に関する条例」を制定して、「世界が必要とする福祉都市」のメッセージを発信する時期が来ている。このメッセージは日本、アジアそして世界の多くの人たちを引き寄せる。AMDAとしても「世界が必要とする福祉都市」岡山のメッセージをジュネーブやニューヨークなどの国連の場で積極的に伝えることができれば望外の喜びである。

編集後記

第25回国民文化祭・おかやま2010について、本誌では各市町村実行委員会の取組状況を連載しておりますが、約1年余と迫った本番に備え熱意が高まってきているのを実感しております。静岡国文化祭は10月24日(土)から11月8日(日)まで開催され、連盟では運営状況等を視察に行かれる団体の支援も行っております。視察の際には、事業の進行管理など運営上のノウハウはもとより、会場までのアクセス、受付、案内看板、配布物、効果的な広報宣伝方法、会場内外の設営状況、弁当、岡山への引継ぎ手順、各種のボランティアの様子、更には地域住民・タクシー運転手・宿所の従業員の対応、衛生管理、現地新聞等の取り上げ方などもしっかり見ていただき、その成果を岡山国文化祭の成功に生かしていただきたいと思います。ただ、新型インフルエンザには充分ご留意いただくとともに、無理のない日程で視察されますようお願いいたします。なお、連盟では、県国民文化祭実行委員会事務局と連携し、11月下旬以降にボランティアリーダー講習会を開催できたらと考えており、日程が決まり次第ご連絡申し上げますので、ぜひご参加いただきたいと思います。

文化連盟だより **さんび** (No.17)

平成21年9月発行 題字 書家 高木聖鶴

編集・発行 **(社)岡山県文化連盟**

会長 大原謙一郎
事務局
〒700-0814 岡山市北区天神町8-54
岡山県天神山文化プラザ3F
TEL.086-234-2626
FAX.086-234-8300
URL <http://www.o-bunren.jp>